

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんあんclass行啓UPルーム		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和6年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和6年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムを固定化しないように工夫している。	興味関心に沿った活動提供と毎月、新しい活動を考案し実施するようにしています。 また、サッカー療育では、過去の経験を生かし初めてのサッカー大会参加(年一回の実施を目指す)が出来ました。 ダンス療育では、児童の希望を聞きながら意欲的に取り組めるように配慮しながら実施しています。多くの活動を提供する中で豊かな経験や学びに繋がっています。	今後も、多くの経験の幅を広げてあげられるような、活動を 考えて提供できるようにしていきたいと思います
2	・日ごろから子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達課題について、共通理解を持てていること。	保護者に共有する前に、職員間で共有し情報を精査してから保護者様に伝えるように意識しています。その場の様子を詳しく丁寧に説明が出来るように意識しています。また、定期的な面談の実施と、必要時にも迅速に対応が出来るようんしています。	送迎時の短時間では伝えきれない時には、連絡ノートや面談、電話を通して実施しています。些細な事でも情報の提供を心掛けていきます。
3	・専門職による支援体制が整っていること。	言語聴覚士・保育士等、専門職による直接的な支援が行えていること。	専門分野において、他の職種(作業療法士・理学療法士・心理士)の人材の確保が出来るとより幅の広がった支援が出来るのではないかと思います。現状、人材確保には難しい面も 多くありますが、検討はしていきたいです。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・自立支援協議会への参加があまり出来ていないこと。	会議の重要性の理解はあるも、開催の時間が勤務時間外であること	勤務時間内での開催が望ましい。その会議に参加する職員の 為に人員の確保をして対応していきたいと思います。
2	・幼稚園・保育園・他事業所との連携が弱いこと。	児童をお迎え時には、簡単にその日の様子を聞くことが出来るも具体的な場面を挙げて、情報の共有を図るとこまでが出来ていない。	情報共有の機会の為に相互で歩み寄り、情報共有の機会が持てるように検討していきたいと思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あんあんclass行啓UPルーム

公表日 令和 7 年 1 月 1 日

利用児童数 10名 回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7			1		専門職員を配置することが出来て、専門的な支援を今後も継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					本人や家族様のニーズに沿うように支援計画書の作成に今後も務めていきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7			1		毎月新しい活動の考案と実施に努めています。また、ダンス療育・サッカー等活動の幅を持たせ多くの経験が出来るように今後も考えて実施していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2		4		毎年実施されています、運動会の参加により交流を持つように努めたり、今年はサッカー大会への参加も実施して同年代の児童との交流の機会を持ってました。今後も継続が出来ればと考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					契約時に契約書等として説明をしています。また、不明点についても随時対応しています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1				

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8					年に2回以上の面談・送迎時・連絡ノート等で細かく伝え共通理解のもと療育を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5			3		ご両親や兄弟の参加のもとハロウィンイベント、バーベキュー・運動会等を実施し多くの方に参加して頂いています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6			2		契約時にお伝えしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8					定期的なお便りで、活動の様子・行事の誘い・災害についての豆知識等を配布しています。また、ブログや思いでcomというサービスを使用することで活動中のお子様の様子を見てもらう等を行っています。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7			1		鍵付きロッカーに保管し今後も十分に注意していきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		安全訓練（災害・BCP・感染・虐待等）を毎月実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			2		実施した際には、保護者様にも報告しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					安心できる場所になるように努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8					通所が楽しみとしてもらえるような活動等を、職員一同で考えていきます。

	29	事業所の支援に満足していますか。	8						
--	----	------------------	---	--	--	--	--	--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんあんclass行啓U P ルーム				公表日		令和 7 年 1 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動内容によっては、手作りの作を用いて活動のスペースを区切る等の対応をしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月実施しています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意見や希望を確認し、実施できるものは取り入れるようにしています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加、オンラインによる毎月の研修等を実施しており、全職員が毎月必ず受講しています。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員の意見を聞き、支援計画案の会議を実施することで計画に職員が携わっています。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		毎月のモニタリングは、職員が実施しており、それを参考にしたり、実際に意見を聞きながら作成しています。				

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月に一度は、新しい活動を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせの時間を決めて実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		短時間ではあるが、報告は実施しています。	報告だけでなく、振り返りと考察までが出来るように今後検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングは、毎月実施し判断しています。	
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		依頼に対しては、積極的応じています。	依頼して積極的に関わっていくように、検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		コロナ以降は少なくなりましたが、少しずつ情報共有の出来る関係性を図っていきたいと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		特別支援学校の移行児童は、現在までいませんでしたが、小学校入学の移行に際しての情報共有は現状ご両親を通して物で直接的な支援は出来てはいないことから、今後は検討していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

この連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		年1回のグループ全体の運動会で、交流の機会を持つことが出来ています。	年に1度と回数は少なめであることからもう少し交流が持てるような機会の検討をしています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の送迎時に、伝えるようにしています。また、メモを付けるなどのことも合わせておこなっています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ノートや面談時など、その都度対応方法について伝えています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子ども達に意見や希望などを聞き、支援計画に組み込んでいます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談の機会を設けたり、必要時の面談電話での相談対応を実施しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		バーベキュー・サッカー・ハロウィンイベント等、保護者、兄弟の参加の機会を設けて実施しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、ホームページのブログに活動の様子等、毎月のお便りで、行事予定や活動概要を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイル等、個人情報は鍵付きロッカーで保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	近隣の高齢者のデイに訪問し交流を持つ活動は実施していますが、招待をすることは出来てはいません。	どんな行事が出来るのか、考えていきたいと思っています。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		契約時に保護者に伝え、訓練は毎月実施しお便りやノートで保護者にも伝えるように対応しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		一覧にして貼りだしており、全職員がすぐに確認出来るようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットをその都度書き、いつでも見れるようにして周知しながらも、毎月のミーティング時再度確認して再発防止につなげています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回以上の研修の実施をしています。	実際の研修を全職員が受けられないことにより、後日報告と研修資料の配布との実施の周知をしていかなければならない。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		一時的、切迫性、非代替性のような、誰でも起こり得る可能性のあるものは、支援計画に記載済みです。 身体拘束を行ったことはありませんが、パニック状態になった際に周りの児童から話す、静止させる為に他の児童から離れたところで対応することはあります。常日頃、職員間で安全確保や支援の為に身体的接触は必要な一方、児童個人のプライバシー等保護の為に不必要な身体的接触や拘束は行わないという意識が共有出来ています。	

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	あんあんclass行啓UPルーム		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和6年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		令和6年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動プログラムを固定化しないように工夫している。	興味関心に沿った活動提供と毎月、新しい活動を考案し実施するようにしています。 また、サッカー療育では、過去の経験を生かし初めてのサッカー大会参加（年一回の実施を目指す）ができました。 ダンス療育では、児童の希望を聞きながら意欲的に取り組めるように配慮しながら実施しています。多くの活動を提供する中で豊かな経験や学びに繋がっています。	今後も、多くの経験の幅を広げてあげられるような、活動を考えて提供できるようにしていきたいと思います
2	・日ごろから子どもの状況を保護者様と伝え合い、子どもの発達課題について、共通理解を持っていること。	保護者に共有する前に、職員間で共有し情報を精査してから保護者様に伝えるように意識しています。その場様子を詳しく丁寧に説明が出来るように意識しています。 また、定期的な面談の実施と、必要時にも迅速に対応が出来るようになっています。	送迎時の短時間では伝えきれない時には、連絡ノートや面談、電話を通して実施しています。些細な事でも情報の提供を心掛けていきます。
3	・専門職による支援体制が整っていること。	言語聴覚士・保育士等、専門職による直接的な支援が行えていること。	専門分野において、他の職種（作業療法士・理学療法士・心理士）の人材の確保が出来ることより幅の広がった支援が出来るのではないかと思います。現状、人材確保には難しい面も多くありますが、検討はしていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・自立支援協議会への参加があまり出来ていないこと。	会議の重要性の理解はあるも、開催の時間が勤務時間外であること	勤務時間内での開催が望ましい。その会議に参加する職員の為に人員の確保をして対応していきたいと思います。
2	・学校や他事業所との連携が弱いこと。	児童の学校での様子を知りたいと思っても、支援級に通う児童については、児童を迎えに行った際に先生と話をすることが出来るも、普通級の児童についてはそういう機会が無く、教職員の方と私たち職員の空き時間のずれから調整が難しい。	相互に歩み寄り、情報共有の機会が持てるように検討していきたいと思います。
3			

公表日 令和 7 年 1 月 1 日

16

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16					今後も安全に活動が出来るように配慮していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1		1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1				専門職の配置により専門的な支援に加えて、職員間での情報共有に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15			1		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					児童・保護者様のニーズに寄り添って計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		2		毎月、新しい活動を考察し実施しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11		1	4		グループ全体の運動会・サッカー大会に参加し交流を持つようにしています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	1	2	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16					年に2回の面談の機会を確保して実施しています。また、必要時にも実施しています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16					児童や保護者様に寄り添う支援が出来るよう行っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3		2		親御様・兄弟の参加の機会を設けて、バーベキュー・ハロウィンイベントの実施を行っていますが、今後は、新たな行事の開催が出来るように考えていきたいと思っています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			1		相談や申し入れに対しては、すぐに職員間で相談をし実施出来るように対応しています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					お便り・ブログなどでお伝えしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			1		鍵付きロッカーに保管しております。今後も、十分に注意していきます。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1				契約時に説明し、安全訓練計画を立てて毎月実施しています。実施内容については、連絡ノートやお便りで報告しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15			1		毎月、実施し、保護者様に報告を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			1		大きなけがはありませんが、転んですりむいてしまった等のケガについてもその都度保護者様にお伝えしています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	4				今後も楽しみながら通所が出来るように対応していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あんあんclass行啓UPルーム		令和 7 年 1 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		座っての活動時は、スペースが広すぎる為、牛乳パックの作（手作り）を使用することで、落ち着いて活動出来るようにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		専門職員の配置により専門的支援が出来るようになりました。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除と消毒、週末の土曜日には普段できない所等、実施するようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月、目標を設定し、ミーティング時に振り返りを話しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		年1回ではあるが実施しています。結果を踏まえて、検討、改善しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内（グループ）研修は、2か月に一度実施。 その他、毎月オンラインで研修を実施しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			児童について、ミーティング時に話をおこなっていますが、全ての把握が難しい面があったり、職員正しい情報が届いていない部分があることから、情報共有の充実の面での課題はあると思います。口頭で伝えるだけでなく、書いて残し伝えるという事を徹底していく必要性があります。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に対しての会議を持ちおこなっています。	非常勤職員への周知が完全に出ていない部分が課題となっています。職員全員（常勤・非常勤）が声を出していける環境を作ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎月のモニタリング・1年に一度実施。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週案を毎週、担当者を変えて作成し、全職員が関わるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月に1つは、新しい活動を取り入れるようにしています。同じ活動でもルールを変えたりしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		非常勤職員が出勤してから全職員で確認を毎日実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			送迎からの戻りがバラバラとなり、必ず出来るとはいえないが、実施するようにしています。全職員がいない状況のため情報共有が完全に出ていない所がある。送迎に要する時間がかかることや掃除や消毒に時間がかかる等時間を上手く作ることが課題となっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中であったり、個々に聞き取りを行い、自己選択、自己決定が出来るように対応しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			継続的な実施支援は検討していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			学校を卒業した児童がいない為、したことはない。今後は、対象児童が出た場合は実施していきたいと思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		参加するように努めています。	

携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後、機会を作れるように検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		開催時間の関係で毎回参加する事が難しい。参加出来るよう検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的な面談と送迎時には、児童の様子を伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年2回以上の面談の実施と必要時実施しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		親子参加型（兄弟）の行事（バーベキュー・ハロウィンイベント等）の実施	保護者会の開催は、まだ実施出来ていないが、現在企画を検討中であり、早期に実施出来るようにしていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		近隣の高齢者デイサービスに毎年、訪問し交流を持っています。	地域交流については、幅広く検討し参加出来るように検討していきます。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月のお便りに、非常災害についての豆知識、訓練の実施と様子を伝えるようにしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			年2回の研修・その他にも視聴型研修を実施しているが、全職員がその時に実施が出来るように今後検討していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現状では、該当児童がいないが、今後やむを得ない場合は計画書に記載していきます。現状の支援計画には、誰でもが起こり得る可能性のある（切迫性）（非代替性）（一時的）の記載は入れています。